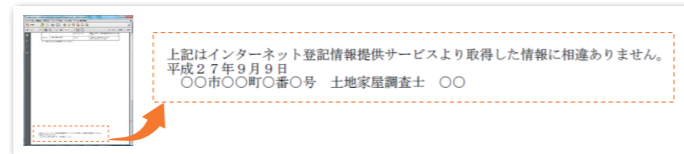


## 再利用

### 7 登記情報印刷

物件台帳から登記情報のPDF形式での印刷はもちろんのこと、末尾に奥書を付けた印刷もできますので、依頼者へ提出する場合も便利です。複数の登記情報に対してまとめて一括印刷を行うことも可能です。



奥書付き印刷も可能

### 8 物件転写

物件情報を標準型、省略型、略記型の3種類でクリップボードにコピーし利用目的に応じてご利用いただくことができます。

### 9 登記情報ファイル出力

物件台帳からは表題部所有者、甲区、乙区、管轄登記所等の情報をテキスト形式、CSV形式で外部に出力できます。利用目的に応じてExcelに取り込んで加工をしていただくことも可能です。



物件台帳から様々な形式で出力(PDF、CSV、テキスト)

登記情報アシスト

## 動作環境

OS	Windows 7/8/8.1/10 (32bit版/64bit版)、Windows Vista (SP1以上、32bit版のみ) Windows Server 2008/2012 ※Windows RTには対応していません。
インターネット エクスプローラー	Microsoft Internet Explorer 9 以上
ハードディスク	システムドライブの空き約1.5 GB 以上 ※ユーザーデータ格納用及び、Microsoft .NET Framework がインストールされていない場合は、ディスク容量が別途必要です。
メモリ	2GB (4GB以上推奨) およそ500MBをシステムサービス稼働のために占有
その他	インターネット接続環境 (一般財団法人 民事法務協会の「登記情報提供サービス」が利用可能な環境) が必要です。

### インストールされるライブラリ

.Net Framework 3.5 SP1 : .Netライブラリ (サーバーのバックアップ機能で使用) /  
.Net Framework 4.0 ClientProfile : .Netライブラリ (プラットフォームマネージャ/モニタで使用)

### インストールされるサービス

Apache 2.2 Webサーバー (apache 2.2.27) / Tomcat 7 サーブレットコンテナ (tomcat 7.0.55) / PostgreSQL 9.3 データベースサーバー (postgresql 9.4.5.1)

※制限事項  
セットアップするパソコンに上記サービスとリソースが競合するソフトウェアが稼働している場合、該当サービスの設定変更または利用停止などの対処が必要な場合があります。

### 株式会社 ニコン・トリンブル

<http://www.nikon-trimble.co.jp/>

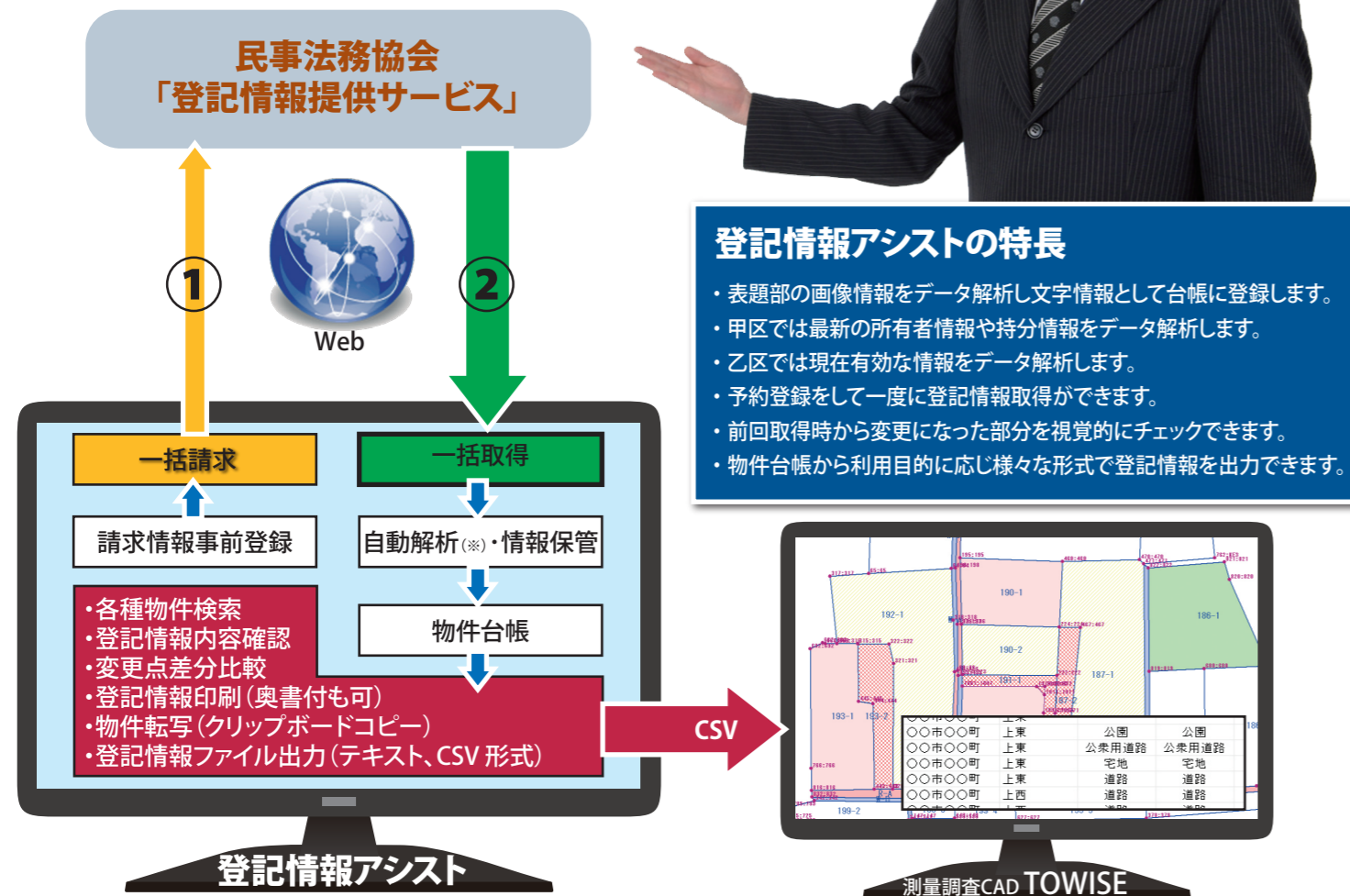
#### サーベイ営業部

〒144-0035  
東京都大田区南蒲田 2-16-2 テクノポート三井生命ビル  
03 5710 2596

※ 掲載されている各値は、環境により変動します。  
※ Trimble及び地球儀と三角のロゴは、米国Trimble Navigation社の登録商標です。  
※ Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。  
※ その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標及び商標です。  
※ ご注意: 本カタログに掲載した製品及び製品の技術(ソフトウェアを含む)は、「外国為替及び外国貿易法」等に定める規制貨物等(技術を含む)に該当します。輸出する場合には政府許可取得等適正な手続きをお取り下さい。

## 登記情報アシスト

本ソフトウェアは、一般財団法人 民事法務協会が提供している『登記情報提供サービス』で取得した PDF 形式の登記情報を自動解析し、文字情報として取り込み、CSV 出力することが可能です。出力した CSV ファイルは TOWISE に読み込むことで、面倒な土地属性入力を一括で行うことが可能です。



### ※ 登記情報の解析指針とご注意

	解析指針	ご注意
表題部	地目や地積等が変更されている場合でも、変更後の最新の表題部情報を解析し取得します。	原因及びその日付欄の情報は解析対象外となります。また、複数の敷地権がまとめて記録された後、その一部につき非敷地権化され抹消された場合など、データが取得できない場合もあります。
甲区欄	所有権移転や住所変更等があった場合でも、現在最新の所有者の住所、氏名及び持分を自動解析し取得します。	共有者の持分移転のうち甲某及び乙某持分が同時に移転された場合や一部移転が繰り返された場合など、データ構造が複雑な場合はうまく解析できない又は持分計算が合わない場合があります。
乙区欄	抹消された登記は除き、現在有効な乙区の情報を解析しデータを取得します。	(根) 抵当権の移転や債務者の変更等があった場合、新しい(根) 抵当権者や債務者だけでなく、旧(根) 抵当権者や旧債務者もデータとして取得し、表示されます。
その他		スマート登記情報では、所有者事項や地図・図面も取得できますが、データを解析して抽出することができるのは登記情報のうち全部事項に限られます。

### 取得・解析

#### 1 請求情報事前登録

登記情報提供サービス時間外でも事前に取得予定の物件情報を予定一覧に登録して、サービス時間内に一括して請求・取得を行うことができます。事前予約登録時にも所在の指定のほか不動産番号での指定や土地からの建物検索機能を利用することができます。

#### 2 一括自動取得

あらかじめ取得予定一覧に登録した複数の物件をサービス時間内に一括して請求・取得できます。特に大量に物件を取得する際には便利にご利用いただけます。また、登記情報提供サービスの利用者IDを複数台で同時取得し、データは一元管理できます。

(※) 1つの利用者IDを複数台で同時利用することはできません

#### 3 自動解析

取得した物件はPDF読み取り解析により、「表題部」「甲区」「乙区」「管轄登記所」情報などをデータ化して物件台帳に保管します。外字情報もBMPファイルとして取得し表示します。甲区欄においては、所有権移転や住所変更等があった場合でも、現在最新の所有者の住所・氏名及び持分が自動解析されます。また、乙区欄においては、抹消された登記は除き、現在有効な乙区の情報を解析します(※)

※【登記情報の解析指針とご注意】を参照ください。

#### 4 パスワード管理

定期的に変更が必要な登記情報提供サービスのパスワードを自動で管理できます。あらかじめ変更予定期間とパスワードを登録しておくだけで、ソフトウェアが自動的に自動更新しますので、面倒なパスワード変更を気にせず安全にご利用いただくことができます。

### 管理

#### 5 物件台帳管理機能

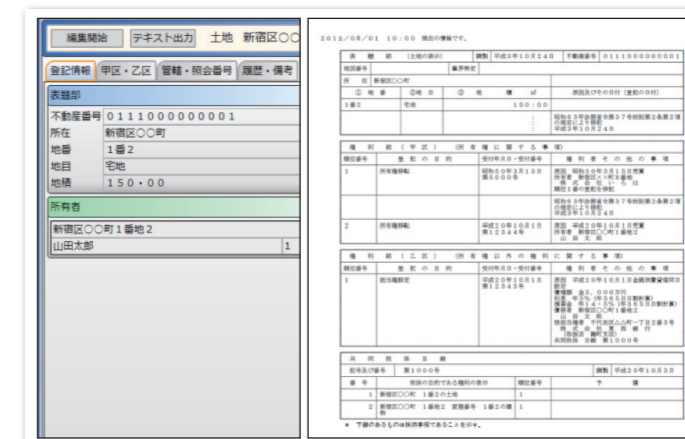
取得・解析された物件は、物件台帳としてソフトウェアに自動的に登録されます。PDF形式の登記情報と解析されたデータが左右見開きで表示され、解析データの編集もできます。物件台帳では登記情報以外にも「分類」や「備考」欄を用意しておりますので、利用者様の利用目的に応じてご利用いただけます。たとえば、注意を要する登記情報については備考欄にその旨記載したり、特定のご依頼で取得した大量物件をグループ化して保管したりできます。

#### 6 履歴・差分比較

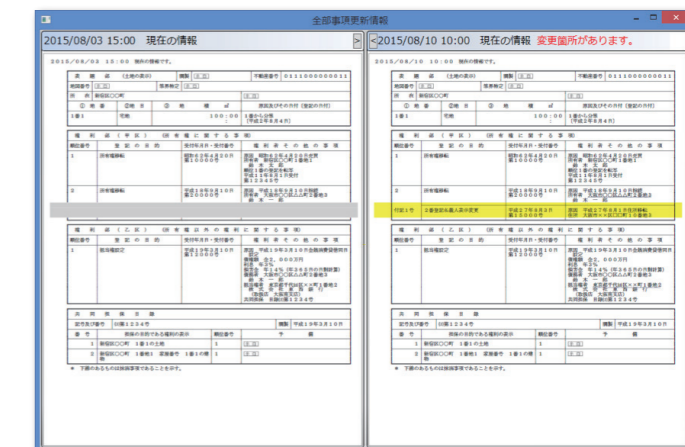
同一物件を複数回取得した場合は、都度の履歴管理に加えて、前回取得した情報との比較機能により、差分をわかりやすく色表示します。過去に取得した登記情報と取引直前の状態に差異がないかどうか素早く把握することができます。



請求事項登録画面



登記情報確認画面



前回取得データとの差分比較